

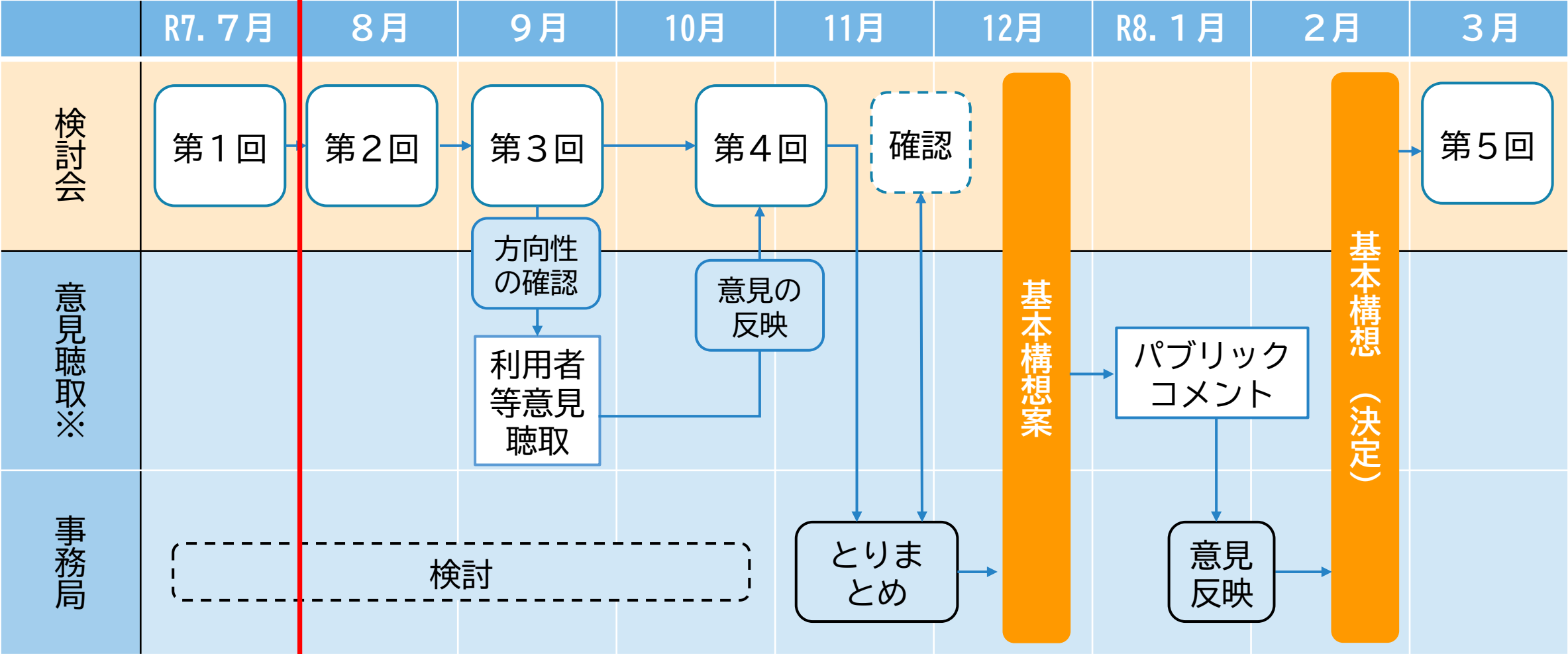
（仮称）新九段生涯学習館 基本構想検討会

—第2回—

検討会の流れの確認

		【第1回】 7月上旬	【第2回】 8月上旬	【第3回】 9月上旬	【第4回】 11月上旬	【確認】 11月中旬	【第5回】 3月
基本構想の主要素	○策定趣旨 ○基本構想の背景	意見出し	まとめ			基本構想案の確認	パブコメ結果・基本構想報告
	○めざす姿						
	○基本方針		意見出し	まとめ			
	○導入機能			たたき	まとめ		
	○施設の規模						
	○今後の取組み			意見出し			

▶ いただいたご意見・ご検討を踏まえ、委員長及び事務局にて最終的なとりまとめを行いご確認いただきます。



※本検討会では、第3回までに基本構想の構成要素をすべて検討した後、区民や利用者の皆様にも導入機能や規模についてご意見をお伺いし、第4回検討会にてフィードバックすることを予定しています。第4回検討会では、これらの意見も含め検討することを予定しています。

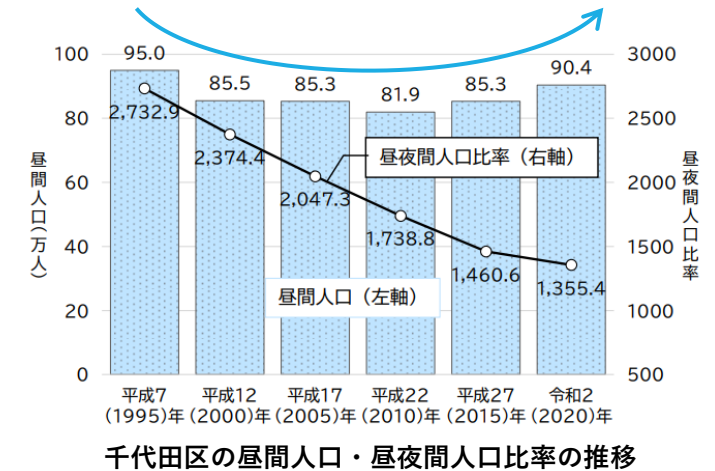
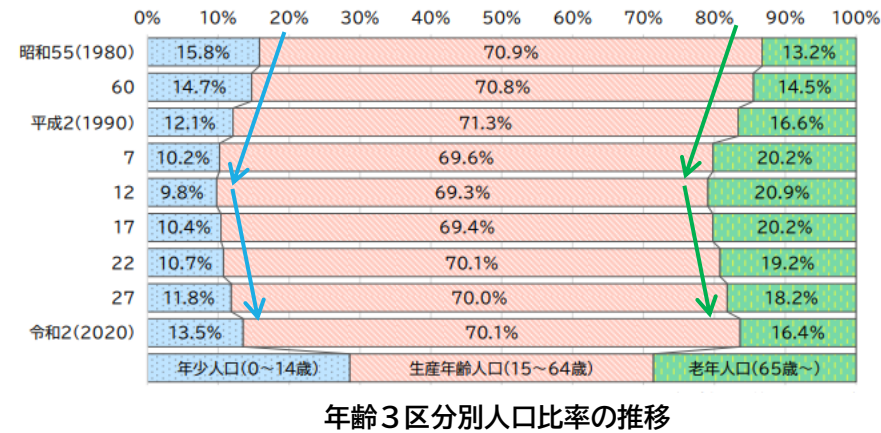
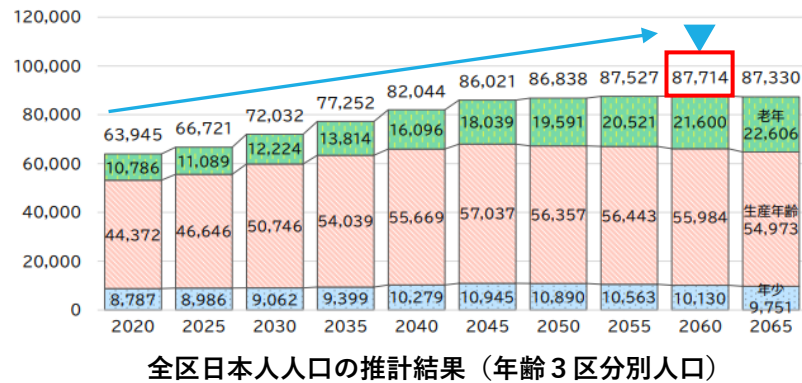
1 (仮称) 新九段生涯学習館の めざす姿・基本方針

1 - 1 基本構想の背景

前回の振り返り（概要）

千代田区の人口等

- 人口は2060年まで増加傾向
- 平成12年まで減少していた年少人口比率は増加傾向
- 平成12年まで増加していた老年人口比率は減少傾向
- 多様な人々が集うまち（昼夜間人口比率全国1位）
- 昭和59年3月15日「教育と文化のまち千代田区宣言」



区民の意識やニーズ（アンケートより）

- 九段生涯学習館を利用したことがない区民は過半数にのぼる。
- 利用したことがない理由として、「どのような活動やイベントがあるのか分からない」や「利用するきっかけがなかった」が多かった。
- 使い勝手に関しては、「待合や談話に利用できるスペースが不足している」、「他の部屋から音漏れがする」、「パーティションで分割する部屋が使いにくい」との意見が多かった。
- 九段生涯学習館以外の施設を利用する団体は約4割で、その理由は「希望曜日・時間帯の予約ができる」が最も多かった。
- 新しい施設の方向性として、「趣味・レクリエーション」と「仲間づくり・絆づくり」が団体・個人ともに特に多かった。
- 「教養向上」、「学びのきっかけづくり」、「多様な学び」を重要と考える意見が多かった。“学びの機会充実”が求められていることがうかがえる。
- 新しい施設の役割として、「生涯学習に関する情報の提供」と「仲間づくりや交流機会の提供」が特に多かった。
- 利用団体においては「活動の成果を発表する場の提供」、一般区民においては「居場所の提供」を重要と考える意見も多くなっている。
- 待合や交流のためのロビーやフリースペースを望む意見や、カフェや自動販売機などの飲食機能のニーズが多かった。
- 小さな舞台や音楽練習の部屋、畳以外の素足で活動できる部屋、全面鏡張りの部屋、ICT環境など、活動内容に対応できる部屋や設備を求める意見が見られた。

生涯学習に求められるキーワード

国・都・千代田区の政策や計画から、生涯学習において今後求められる方向性のキーワードを抽出したもの

ウェルビーイングを実現する

- 自分らしく学ぶ ○多様性の尊重 ○一人一人の可能性が最大に引き出される
- 学び合い・教え合い・助け合い・励まし合いによる生涯学習
- 一人一人の幸せと社会全体の幸せの実現 ○個々人のニーズに応じた学習機会の保障

生涯学び続ける

- マルチステージの学習 ○リカレント教育 ○リスキリング ○学び直し
- 働きながら学べる環境 ○生涯学習への地域・産学官連携による支援

誰もが学べる

- 誰一人取り残さない学習機会や学習環境の提供
- 障害者の生涯学習・文化芸術活動の推進

学びを通じて社会的課題を解決する

- 学びを通じた現代的課題の解決 ○社会教育施設の機能強化、複合化 ○社会的包摂

学びを通じて地域コミュニティの基盤をつくる

- 人と人とのつながり・絆 ○学習・文化芸術を通じた交流機会の創出
- 地域課題の解決 ○社会教育人材の養成・活躍機会拡充
- 地域連携、多様な主体との連携

デジタル社会に対応する

- デジタルリテラシーの向上 ○デジタルデバイドの解消 ○デジタル技術を活用した学習・文化芸術活動の推進 ○社会教育施設のデジタル基盤強化

自律的・持続的な学習・文化芸術活動を推進する

- 学習・文化芸術活動を持続できる仕組みや環境の整備 ○担い手の育成
- 活動団体等への支援

「社会」のウェルビーイングー幸福感の転換

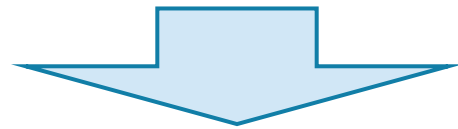
- ・人々がつながりを持ち、社会のウェルビーイングを高めることが個人の幸福に還元されるという個人と社会の好循環

マルチステージ型人生ー学習観の転換

- ・学校教育を終えた後の長い人生において、一部の人だけではなく誰もが生涯にわたって学び続ける学習社会

「場」の意味と学びの形

- ・身近な学びの「場」としての地域
- ・地域課題や地域コミュニティの基盤づくりとしての学びの可能性
- ・「場」に根差した学びと、学びを通じた「場」づくり



人生100年時代の生涯学習

第1回検討会での委員意見から導き出されたポイント①

■テーマ1

「千代田区の良いところ、好きなところ」

「九段生涯学習館の良いところ、好きなところ」について

千代田区について

- 歴史的な建造物がある
- 文化的な場所である
- 自然が豊かである
- 様々な活動をしている人がいる
- 福祉サービスが充実している
- 大学が多く学生が多い街である

九段生涯学習館について

- 立地が良い、交通の便が良い
- 運営や窓口対応が良い
- 施設の使い勝手が良い

第1回検討会での委員意見から導き出されたポイント②

■テーマ2

(仮称)新九段生涯学習館のめざす姿や基本方針について

- 千代田区の文化的背景を踏まえる
- 千代田区の良さを発信する
- 在勤者も含め「輪」を広げる必要がある
- 生涯学習について発信する場
- 様々な活動をしている人がいる
- IT、デジタルなどを活用できる施設が求められる
- 自分たちの活動をもっと発表する場を設ける
- 子どもたちの遊び場
- 若い人が訪れる場所にする
- 若い人が文化に触れられる場所
- 若者を引き込む（地域にとらわれずに利用してもらう）
- 今後は対象を若い世代にシフトしていく
- 地域の幸福感

1-2 めざす姿・基本方針

(仮称) 新九段生涯学習館に求められるキーワード

前回確認した基本構想の背景や委員の意見から導き出されたポイントから（仮称）新九段生涯学習館のめざす姿につながると考えられる「キーワード群」を次のとおり抽出しました。

学びの場

- 生涯学習について発信する場
- IT、デジタルなどを活用できる施設が求められる
- 様々な活動をしている人がいる
- 自分たちの活動をもっと発表する場を設ける

多世代 多様な人

- 若い人が訪れる場所にする
- 子どもたちの遊び場
- 若い人が文化に触れられる場所
- 今後は対象を若い世代にシフトしていく

千代田区の コミュニティ

- 若者を引き込む（地域にとらわれずに利用してもらう）
- 千代田区の文化的背景を踏まえる
- 千代田区の良さを発信する

社会の ウェルビーイング

- 地域の幸福感
- 地域への貢献
- 個人だけでなく、個人をとりまく場が持続的に良い状態
- 自分だけでなく、他者や社会について考える
- 在勤者も含め「輪」を広げていく必要がある

マルチステージ型 人生

- 人生100年時代の学習観の転換
- 学校教育だけでない生涯にわたる学習
- 誰もが学び続ける

「場」づくり

- 「場」に根差した学び
- 学びを通した「場」づくり
- 身近な学びの「場」

6つのキーワード群の示す概念を盛り込み、（仮称）新九段生涯学習館のめざす姿（案）を検討

(仮称) 新九段生涯学習館のめざす姿 (案) ①

多世代の交流を通じ、学び合いが広がり、文化を継承しながら地域がいっそう豊かになっていくイメージ案

めざす姿
案①

学び、つながり、未来へ
「九段から始まる学びのサードプレイス」

※サードプレイス：自宅や職場とは異なる、居心地の良い「第三の場所」

(仮称) 新九段生涯学習館のめざす姿 (案) ②

千代田区の文化と多様な人が交差し、活動が社会に広がるイメージ案

めざす姿
案②

文化と人が交差し、学びがまちを編む千代田の交差点

(仮称) 新九段生涯学習館のめざす姿 (案) ③

多世代が自然に集まり、日常の中で交流と学びが育まれるイメージ案

めざす姿
案③

集う、語る、学び合う。九段がつくる日常の絆。

(仮称) 新九段生涯学習館の基本方針 (案)

基本方針 (案)

誰もが気持ちよく利用できる、質の高いサービスを提供します。【運営・サービス】

多様な人々が交わり、日常に開かれた、居心地のよい交流空間をつくります。【多世代、多様な人、場づくり、交流空間、オープンスペース、カフェ、若者、子ども】

自分らしく学び、活動を通じて地域や社会とつながる場を育てます。【個人・社会のウェルビーイング向上、マルチステージ型人生、コミュニティ、発信発表、在勤者】

変化する社会に対応できる柔軟で持続可能な施設とします。【デジタル技術、多様なニーズにこたえる可変性ある空間設計】

誰もが安心して使える、快適で安全な施設とします。【バリアフリー、ユニバーサルデザイン】

(仮称) 新九段生涯学習館のめざす姿

■テーマ1

(仮称)新九段生涯学習館のめざす姿について

- ・(仮称)新九段生涯学習館のめざす姿(案)①～③について、どの案がよりふさわしいと感じますか。
- ・①～③の各案に対するご意見やご提案がありましたらお聞かせください。

(仮称) 新九段生涯学習館の基本方針

■テーマ2

(仮称)新九段生涯学習館の基本方針について

(仮称)新九段生涯学習館の基本方針(案)についてご意見をください。あわせて、新たな視点や修正点、別案があればお聞かせください。

2 (仮称) 新九段生涯学習館の 機能と規模

現施設の機能

九段生涯学習館にある機能について整理すると次のとおりです。

活動 エリア

座学系の活動

語学、文化研究、時事社会、朗読、文芸、古文書
絵画、工芸手芸、写真、伝統文化、伝統芸能
囲碁、将棋、エンターテインメントなど



運動系の活動

体操、ヨガ、ダンスなど



音楽系の活動

歌唱、楽器演奏など

交流 エリア

成果共有

展示会など



現施設の規模

九段生涯学習館の機能ごとの規模と利用率を整理すると以下のとおりです。

エリア	機能		室名	平均利用率 (%)	面積(㎡)
活動 エリア	座学系 の活動	会議室・集会室	大規模の会議室 (第1・2学習室、第1・2集会室、第1会議室)	約50	540
			小規模の会議室 (第3・4・5・6集会室)	約30	
			第2会議室(九段ギャラリーと一体利用)	—	
		和室	和室(大)、和室(小)	約60	
		実習室・作業室	実習室、準備室、電気炉置場	約25	
	運動系・ 音楽系の活動	運動・音楽室	レクホール、音楽・視聴覚室、多目的室 器具庫、更衣室	約85	443
	小計				983
交流 エリア	成果共有	展示	九段ギャラリー	約45	145
合計					1,128

座学系の活動 会議室・集会室

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人 数 (人)	利用率 (%)	利用料 金(円) ※
第1学習室	83	45	51.8	2,500
第1集会室	46	33	45.4	1,800
第1会議室	37	14	56.7	1,300
第2学習室	27	15	49.4	1,100
第2集会室	19	12	54.9	900
第3集会室	14	12	27.7	900
第4集会室	14	12	30.0	900
第5集会室	14	10	36.7	900
第6集会室	14	10	33.0	900
第2会議室	28	10	—	—

※夜間(18:00～21:00)の利用料金

■参考[利用状況の分析・アンケート結果]

- 利用率は、大規模・中規模では40～50%で維持傾向、小規模では20～30%台と低いが上昇傾向。
- 第1学習室を除き、「狭すぎる」との意見が多い。
- ウェブ会議・配信ができる設備を求める意見がある。

■参考[管理者へのヒアリング結果]

- 利用者はより広い部屋を優先すること、また料金差も大きくないことから小規模集会室の利用率が低い。
- 小規模な団体や設立初期の団体がいるので、小規模集会室は必要。

座学系の活動 和室

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人 数 (人)	利用率 (%)	利用料 金(円) ※
和室(大)	74	32	69.4	1,900
和室(小)	37	16	53.2	1,100

※夜間(18:00～21:00)の利用料金



和室 (大)



和室 (小)

■参考[利用状況の分析・アンケート結果]

- 利用率は、和室大が約70%で上昇傾向、和室小が50%前後で維持傾向。
- 和室大は「広すぎる」、和室小は「狭すぎる」との意見が多い。
- 茶室(炉など)を求める意見がある。

■参考[管理者へのヒアリング結果]

- 利用人数の実態は、和室大は5～10名、和室小は5～8名程度。
- 着付けは5～6名で活動。和室小または集会室5・6(畳を敷く)を使う。
- ストレッチ・体操・ヨガは、活動によって和室大・小を使い分けている。
- 靴を脱いで活動できる部屋として需要がある。

座学系の活動 実習室・作業室

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人 数 (人)	利用率 (%)	利用料 金(円)
実習室、準備室、電 気炉置場	133	40	25.4	3,600

※夜間(18:00~21:00)の利用料金



実習室

■参考[利用状況の分析・アンケート結果]

- ・利用率は20%台と低く、下降傾向。
- ・「広すぎる」との意見が多い。
- ・創作系の団体の活動人数は10人未満、多くて14人程度の傾向。

■参考[管理者へのヒアリング結果]

- ・陶芸の利用団体は現在6団体(3~5名、70代)。高齢化が進み、この5~6年で活動を中止した団体が1~2団体ある一方、新規登録団体はない状況。
- ・実情を考えると実習室の規模は必要以上に大きい。狭くすれば利用料が割安になり、多目的の利用を促すことができるのではないかと。

運動系・音楽系の活動 運動・音楽室

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人 数 (人)	利用率 (%)	利用料 金(円)
レクホール	163	100	91.2	3,900
音楽・視聴覚室	126	50	85.9	3,100
多目的室	70	35	83.9	2,200

※夜間(18:00～21:00)の利用料金



レクホール



多目的室

■参考[利用状況の分析・アンケート結果]

- 利用率は、いずれの部屋も80%を超えて上昇傾向、曜日、時間帯によっては予約が取れない状況と推察される。
- 音を出す活動を行う団体で「予約が取りづらい」ことを理由に他施設を利用するケースが多い。
- 大きな鏡、ダンス仕様の床、高い天井、卓球ができる環境を求める意見がある。

■参考[管理者へのヒアリング結果]

- 多目的室はダンス、音楽・視聴覚室は合唱や楽器練習、レクホールは楽器練習やダンスの利用が多い。
- レクホールの広さでしか活動のできない団体がある。
- 少人数で楽器練習ができる防音の部屋のニーズは高い。

成果共有 展示

室名	室面積 (㎡)	最大 使用人 数 (人)	利用率 (%)	利用料 金(円) ※
九段ギャラリー	145	50	46.1	3,000 (全日)

※全日の利用料金



九段ギャラリー

■参考[利用状況の分析・アンケート結果]

- ギャラリーの利用率は40%台で下降傾向。
- 広いスペースだが、展示やイベントがない場合は使用されていない。

■参考[管理者へのヒアリング結果]

- —

(仮称) 新九段生涯学習館に新しく導入する機能

新しい機能

■参考[アンケート結果]

- 素足で動ける部屋、ダンス、卓球等の身体を動かすことができる部屋を求める意見。
- 音楽の練習ができる音響設備のある部屋を求める意見。
- 休憩スペース、待合スペース、カフェを求める意見（早めに着いたときに待つ場所、飲食できる場所、休憩できる場所など）。
- オープンスペース、フリースペース、打ち合わせできる場所を求める意見。
- 交流スペースを求める意見（子供が過ごせる場所、多世代が集まれる場、新しい仲間との出会い、又、ゆったりしたロビー、学びたい人の交流の場など）。
- 授乳室を求める意見。
- 入口に情報掲示はあるが、情報の発信や検索、相談支援などのスペースがないとの意見。
- 自習室や図書室を求める意見。
- 小さな舞台を求める意見。ミニホールを求める意見。
- 博物館・美術館を求める意見。

(仮称) 新九段生涯学習館の導入機能と規模①

■テーマ1

現施設の各機能の規模について

現施設の各機能について、規模を「拡大・縮小・現状維持・廃止」のうちいずれとするべきか、意見を出し合ってください。

(仮称) 新九段生涯学習館の導入機能と規模②

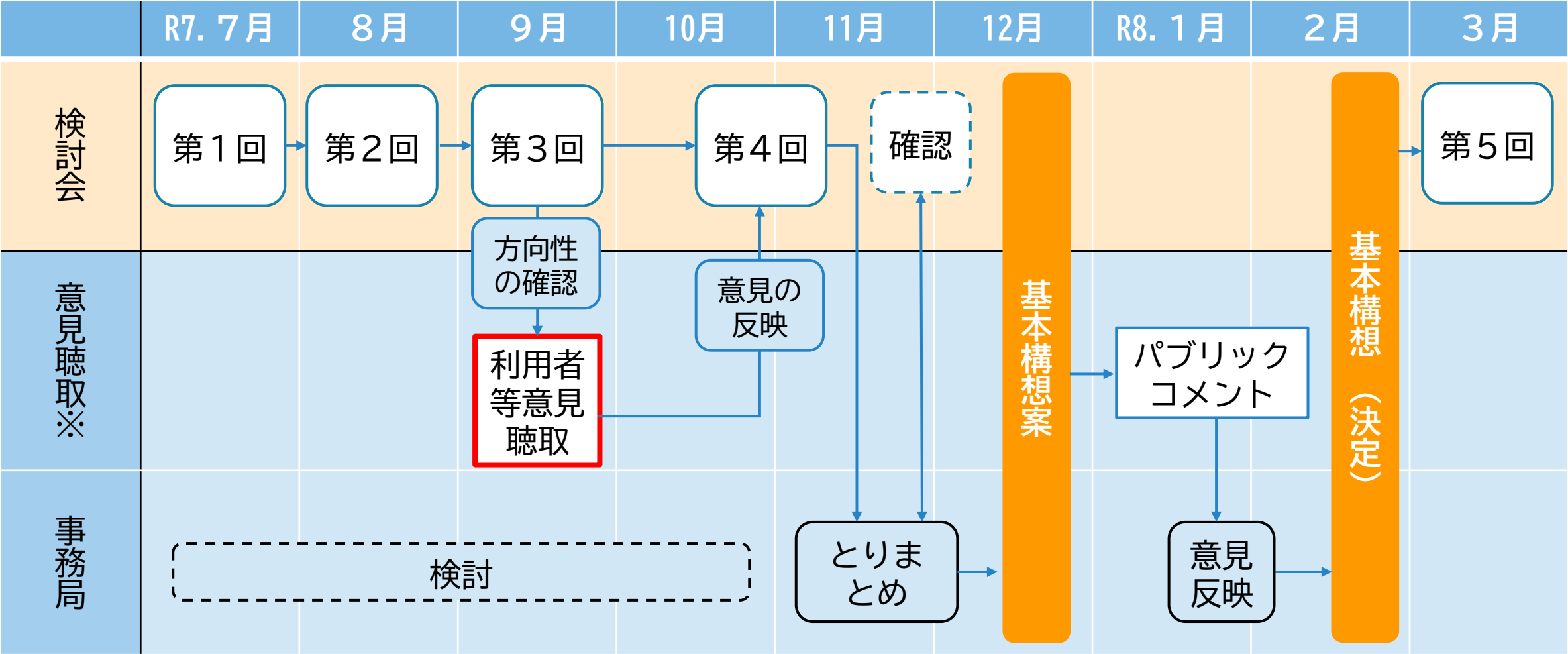
■テーマ2

新施設に導入が期待されている機能について

(仮称)新九段生涯学習館の整備に向けて、アンケートで出ている意見についてご意見をお聞かせください。

3 利用者等意見聴取について

		【第1回】 7月上旬	【第2回】 8月上旬	【第3回】 9月上旬	【第4回】 11月上旬	【確認】 11月中旬	【第5回】 3月
基本構想の主要素	○策定趣旨 ○基本構想の背景	意見出し	まとめ			基本構想案の確認	パブコメ結果・基本構想報告
	○めざす姿						
	○基本方針		意見出し	まとめ			
	○導入機能			たたき	まとめ		
	○施設の規模						
	○今後の取組み			意見出し			



※本検討会では、第3回までに基本構想の構成要素をすべて検討した後、区民や利用者の皆様にも導入機能や規模についてご意見をお伺いし、第4回検討会にてフィードバックすることを予定しています。第4回検討会では、これらの意見も含め検討することを予定しています。